

栄養管理部

概要

栄養管理部での業務は、大きく2つに区分することができる。その一つに、入院患者様を対象としたフードサービスとしての食事提供と、もう一つは、入院・外来患者様への栄養相談業務である。

栄養部門の役割は、チームリーダーとしての医師を中心とした各専門職種によるチーム医療を推進し、適切な栄養補給に基づく患者様個々の栄養状態を的確に評価・判定することにより、疾病の治療と予防を含めた効果的な健康・栄養教育を行うことであると考えている。

入院時食事療養制度における給食数

栄養管理部に従事する職員については、栄養管理部長（副院長併任）が組織を総括し、管理栄養士（4名）調理師（12名）調理助手（2名）により組織され、食器洗浄及び配膳業務等については一部委託を行っている。

平成14年度（14年3月を含む。）における入院患者様への食事提供総数については、295,316食であり、その内訳として、妊産婦食及び学童食等の一般食については115,708食、アレルギー食及び幼児食等の非加算特別食148,373食、エネルギーコントロール食等の加算特別食31,235食の内容であった。（表1）

	一般食	非加算特別食	加算特別食	食事提供数	禁食	外泊	合計
3月	2,055	2,768	1,477	6,300	1,208	141	7,649
4月	3,629	5,377	1,778	10,784	1,765	324	12,873
5月	5,569	8,034	2,574	16,177	2,704	864	19,745
6月	7,210	11,214	2,799	21,223	1,529	1,233	23,985
7月	9,363	12,076	3,048	24,487	3,901	1,268	29,656
8月	11,541	10,299	2,941	24,781	4,598	1,589	30,968
9月	9,188	11,581	2,317	23,086	4,078	1,720	28,884
10月	10,501	14,862	2,692	28,055	4,938	2,559	35,552
11月	9,940	14,980	2,364	27,284	4,867	2,290	34,441
12月	10,974	15,290	2,636	28,900	4,977	1,897	35,774
1月	11,246	14,098	2,375	27,719	5,045	2,011	34,775
2月	11,336	13,950	2,019	27,305	4,163	1,287	32,755
3月	13,156	13,844	2,215	29,215	5,300	1,844	36,359
合計	115,708	148,373	31,235	295,316	49,073	19,027	363,416

また、産科病棟においてご出産された方を対象に、特別メニューによる「祝膳」のサービスを平成14年5月より実施しているが、当院の特色として、病棟からの依頼を受けた後担当調理師による独創的な料理と心にくいデザートを作成し、直接お部屋までワゴンサービスを行っている。（写真）



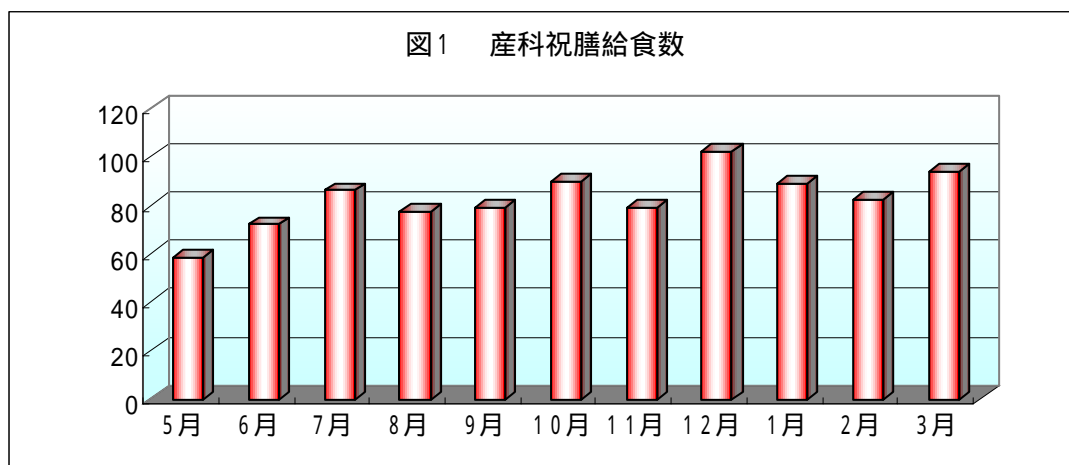
調理師によるワゴンサービス風景

（この写真の掲載は患者様に了解を得ています。）



祝膳の一例

なお、祝膳の提供数については、今年度分として908食を提供（1日平均3食）させていただき、時にはお母様より感謝のメッセージいただくこともあり、そのことが担当調理師の励みになっている。（図1）



当院における今年度の総給食数は 295,316 食であるが、その比率として最も多い食種は「ミルク食」であり、79,575 食 (26.9%) を提供させていただいた。ミルク食の提供には、一般調整粉乳・未熟児対応ミルク・登録特殊ミルク等が含まれ、哺乳瓶の使用本数では 482,359 本 (1 日平均約 1,200 本) となる。

選択メニュー制度の導入については、平成 14 年 9 月より実施し、ベッドサイド端末に表示される料理画像 (うなぎ蒲焼・煮込みハンバーグなど) から選択ができるシステムを構築し、今年度は 17,011 食のサービスを提供することができた。

栄養食事指導件数

栄養食事指導の実施については、各診療科医師からの指示を受け、電子カルテシステムの予約枠に予約していただくことにより実施されるが、今年度は 946 件のご相談をお受けすることができた。

また、一度栄養食事指導の指示を受け、継続の必要性がある患者様等については、病棟訪問を行うことにより食生活の改善と食行動の是正に繋がるよう努めてきた。(表 2)

相談件数の疾病別内訳としては、個人指導の 19.8% (131 件) が肥満症であり、18.1% (120 件) が糖尿病であった。

また、外来における乳幼児健診及び発達外来件数は 287 件 (43.3%) であり、今後とも栄養に関する育児支援に対し、積極的に取り組んでいきたい。

集団指導の項目としては、母親教室・糖尿病教室が挙げられているが、その殆どが母親教室 (271 件) である。糖尿病教室の開催については、昨年 8 月、当院の会議室において 12 名の患者様とご家族の方々の参加者を得て開催した。

指導種別	算定件数	実施件数	
		入院	外来
個人指導	算定件数	59	90
	非算定件数	75	439
集団指導	算定件数	0	0
	非算定件数	0	283
病棟訪問件数		849	

研究活動

- (a) 厚生労働科学研究費助成金 (子ども家庭総合研究事業)
 - 「育児不安の軽減に向けた低出生体重児の栄養のあり方に関する研究」
- (b) 厚生労働科学研究費助成金 (子ども家庭総合研究事業)
 - 「小児科領域における栄養ケアシステム / 協働モデルの開発」